

— 保健福祉実習を終えて —

9月に3週間理学療法士の実習生を受け入れました。学生さんの感想を掲載いたします。

今回の実習では、病院で働く理学療法士と、訪問で働く理学療法士の役割の違いについて詳しく学ぶことができました。今まで経験したりハビリテーション室で行うリハビリでは入院患者様が自宅へ帰ることが目的でしたが、今回の訪問リハビリでは実際の生活場面でのリハビリを見学させていただきました。

患者様1人1人それぞれ住んでいる環境が違っているので、家屋構造、周辺環境に合わせて、治療、福祉用具、住宅改修などの知識の大切さに気付き、今後勉強していかなければならないと思いました。

また、介護保険制度を知ることで、ケアプランの中での理学療法士の役割、チームアプローチの大切さを学びました。

最後に見学させていただいた患者様には多くのことを学ばせていただきました。患者様のことを考え、人の役に立てる理学療法士になるため学校内での勉強に精進したいと思います。

未熟な私にご協力いただいた患者様、ご家族様に深く感謝いたします。

(関西総合リハビリテーション
専門学校 大江 逸人)



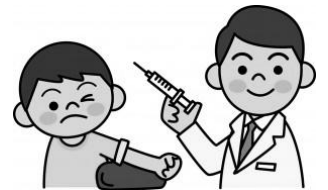
B型肝炎は ワクチンで予防

日本ではウイルス性肝炎が肝炎の80%を占めていてA、B、C型が多くあります。A型は食べ物から、B、C型は血液等から感染します。

感染した時期や健康状態によって一過性感染で終わる場合と6ヶ月以上感染が持続持続感染（キャリア）に分かれます。免疫力の未熟な子供が感染するとキャリアになりやすく、大きくなってから慢性肝炎を起し、肝硬変や肝がんに進行していく可能性があります。

ます。B型肝炎を予防する方法としてワクチンがあります。1986年以降、母子感染予防対策として、お母さんがB型肝炎のキャリアの場合、出生時からワクチンを接種し、赤ちゃんの感染が激減しました。今後は乳幼児の

感染を予防するために、B型肝炎ワクチンが定期接種化される方向です。
(看護師 遠松 美智子)



七五三

七五三といったら、三歳、五歳、七歳するのが当然のようになっています。が、なぜこれらの歳でお祝いするようになったのか不思議に思い、調べてみました。

で、七五三は、子供は七歳までは神様からの預かりものであるとされていて、七歳までの奇数の歳には、それまで無事に生きてこられたという感謝と、これから来ますようにという願いを込めて行う儀式なんです。

中国の古い思想「陰陽説」の中で奇数を陽数といい、めでたい数と言われているので、その影響で日本でも奇数が縁起の良い数とされているようです。

また、昔は乳幼児の死亡率が非常に高かった為、人生の通過儀礼のお祝いとして三歳から七歳の間にお祝いが行われるようになったと言われているようです。

このような理由

(医療事務 山内 加奈子)



予約は
こちらから

電話：0799-62-5566 (診療時間内)
インターネット・携帯電話：<http://www.ukr.jp/soyama/> (24時間対応)
携帯電話からは右のQRコードからでも予約できます

